

大津のことがもっと好きになる情報誌

広報

# おおづ

# 2

February 2026

## 大人になっても、 ワタシらしく



広報おおづ 2026 2

発行・編集 ■大津市・総合政策課  
〒869-11292 熊本市東区大津町大字大津1233番地  
TEL.096(293)3118 <http://www.town.ozu.kunamotok.jp/>

印刷 ■ホーテ印刷株式会社  
※広報おおづは環境に配慮して再生紙と植物油インクを使っています。

UD  
FONT  
易やすぐ読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

Public relations  
OZU TOWN



▲県外から立候補したメンバーも。式典を創り上げた実行委員たち

▲同級生が考案した記念品のタオルデザイン



▲「車道に飛び出すほど活発」だった幼少期

ClOzu-up  
Ozu-jin

## 記憶に残る、 一步を。

きよはら そうし  
清原 壮志さん(美咲野)



1月に町生涯学習センターで開催した「二十歳式」。実行委員長の清原壮志さんは通信制大学でプログラミングを学び、大津町地域未来塾の講師も務める2年生だ。新たに大人としての一步を踏み出した清原さんにクローズアップした。

「ちゃんと成功して良かった、という気持ちです」式典後の感想を穏やかな笑顔で語る清原さん。物腰が柔らかく、謙虚な姿勢は20歳とは思えないほど落ち着いている。高校では陸上部でキャプテンを務めるなど、必要とされる場面で役割を引き受けてきた。県内の進学校を経て、進学先には通信制大学を選んだ。「県内に、自分が学びたい分野を専攻できる学校がなかったんです。校内で通信制に行ったのは僕だけだと思います」周囲に流されない姿勢からは、芯の強さがうかがえる。式典の実行委員長として「ただプログラムをこなすだけではなく、みんなの記憶に残る式典にしたかった」と話す清原さん。発案したのは、同じく20歳を迎える「グランパワートレック」の出演だ。サブライズゲストとしての招致に見事成功した。また、記念品のタオルは実行委員会ではない同級生がイラストを考案。メンバー以外も巻き込んで、みんなで式典を成功させたい。そんな思いで取り組んだ。「式典後に友達から「良かったよ」と声をかけられたことが何より嬉しかったですね」将来の夢はまだ模索中だが、さまざまな人と関わる仕事をしている母の背中を見て育ち「自分も多くの人と関わってきたい」と話す。大人の一步を新たに踏み出した清原さん。その歩みは、自分らしい未来へと続いていく。

ついでの声

スマホを機種変更しました。これまでは格安機種を限界まで使い倒してきましたが、今回は最新機種に。スマホの処理速度がなんと倍になるそうです。旧機種はカメラの起動に10秒、二次元コードの読み取りに30秒ほど時間を要していました。着信があってもスマホは震えるばかりで応答ボタンが表示されず、掛けなおすこともしばしばでした。今回の機種変更でアプリの起動の速さはもちろん、電話にもすぐ出られてフリーズもしない。生活の質が一気に向上しました。皆が最新機種を選ぶ理由が分かった気がします。(M.S)

